



TITLE:

# 基研研究部員選挙規則改正の提案

AUTHOR(S):

---

CITATION:

基研研究部員選挙規則改正の提案. 物性研究 1965, 3(6): 452-453

ISSUE DATE:

1965-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85667>

RIGHT:

## 基研研究部員選挙規則改正の提案

議長団 中 嶋 貞 雄  
田 中 一  
町 田 茂

### 1. 提案内容

研究部員の改選ごとに、当選者のうち、40才をこえる者が3割をこえないようにする。

投票手続きは現在と同じで、開票結果を見て、必要なときには、上記の制限をみたすように、40才以上の当選者を制限し、下位をくり上げる。

註 研究部員全体で3割以内とすると、改選のさい、40才以上の者が、あるときは6割まで入り、あるときは1名も入り得ないということも可能なので、改選ごとに3割以内とした。

### 2. 提案理由

基研研究部員会が物理の発展の中心の一つとなり、官僚主義や封建的なものを破つてゆくための生き生きとした芽になるためには、研究部員会のメンバーが固定化し、老朽化することは望ましくない。

この提案だけで、その傾向が打開できるとは思わないが、よい方向に向うのではないかと思うので、広く研究者の間の討論をお願いしたい。

### 3. 実施時期

来年度(1966年春)の改選から行えばよいと思う。

### 4. 討論のおねがい

各地の研究室でこの点についての討論をお願いしたいと思います。

研究部員の方には、2月下旬の研究部員会にその討論を持ちよつて頂きたいと思います。

2月末の研究部員会で賛成が多ければ、学会の時の懇談会、いろいろな研究会のときの話し合いの機会などにも討論して頂き、必要ならば修正を行つて、秋の研究部員会で採否を決定すればよいと思います。

附記 現在、40才以上は1等旅費となつていますが、この案は旅費の節約を目的とするものではありません。

Physics Abstracts よりみたプロGRESS  
およびジャーナルの論文数  
(副題 National Prestige and Number of  
Papers in Physics)

先日、American Institute of Physics よりProgress 編集長宛に  
下記の報告書が届けられました。

The Journal Literature of Physics

by Stella Keenan and Pauline Atherton

この報告書は、Amer. Inst. Phys. が発行している Physics Abstracts  
に集録した 20,287 篇の物理論文(1961年度分)を、研究分野毎に分類  
し、論文数を雑誌別及び国別に分けて順位をつけた統計です。このような順位  
は必ずしも各国の物理のqualityを直接に反映するものではありませんが、  
その国々の物理における potentiality を示すひとつの measure とも考え  
られます。ここにその一部を転載し、資料の一端に供したいと存じます。

この論文に含まれた 20,287 篇の論文は、39ヶ国より発行された405の  
雑誌より集められたものです。国別は雑誌の発行された国名により、著者名、  
論文の長さ、本文とレターの区別などを行いません。研究分野は22のカテ  
ゴリーに分けてありますが、我がプロGRESS、又はジャーナルが優勢である分野  
のみを記述します。以下プロGRESS、ジャーナルは、Progress of Theo-  
retical Physics, Journal of Physical Society in Japan の略  
称とします。必要ない番号はとばして書きます。